

第3回子育て環境検討プロジェクト会議での意見・要望に対する対応 (1/3)

No.	分類	意見・要望	対応の状況
1	行政サービスの改善	<p>■2ヶ月訪問時にベビーギフトをもらったが、出生届を出した際にも粗品のようなものがあるとよりお祝いされている感がある嬉しい。</p> <p>■ゆめぼっけやこどもの城の駐車場の拡大は出来ないか。</p> <p>■保育園(所)が町からバスを借りることができる回数を、年に1回だけでなく、もう1、2回に増やすことは出来ないか。</p> <p>■上市保育園の土地の利用など考えて欲しい。他の園も閉園にならないように対策をして欲しい。</p> <p>■保育園(所)を卒業してから小学校に入学するまでの期間の子どもの預かりを行って欲しい。</p> <p>■放課後児童クラブの事で相談に行った際、担当者不在で冷たい対応を取られた。勇気を振り絞って行っているのに、いつ行っても相談できる体制を整えて欲しい。</p> <p>■不登校の子どもに対する支援所の名称が「適応指導教室」ということにすごく違和感がある。名称を変更して欲しい。</p> <p>■悩み事相談窓口について、小学校と保護者が連携を取れる形にして欲しい。</p> <p>■義務教育時に不登校になった場合の教育支援はあるか。子供が進学を希望した際、ひとり親でも経済的負担が少なくすむような支援をして欲しい。</p> <p>■小学校のプールは町外の施設に年3回行っているが、時間ももったいないので、ウエルネスのプールを有効活用出来ないか。</p> <p>■小学校は始業式、終業式に給食があるので、出来れば中学校でもお願いしたい。</p> <p>■小学校で支給されるヘルメットは、中学校に入ってもそのまま使うが、支給はないのか。</p> <p>■中学校の登下校について、冬のスクールバスの本数を増やして欲しい。朝はちょうどいいが帰りの時間が遅すぎるので毎日迎えに行っている。</p> <p>■通学路の除雪が間に合っておらず、途中まで自分で雪かきをしている。通学時に間に合っていると助かる。</p> <p>■むき出しの用水等は危険なので、特に通学路などは蓋などをして事故のないようにして欲しい。</p> <p>■自転車で通りにくい道が多い。子供だけで自転車で通行するには不安があり、いつも親の送迎となる。子供だけで走っても危なくない道路にならないか。</p> <p>■近隣の市町村に比べて図書館が暗く、外から見ると開館しているのかどうか分からない。</p> <p>■出生届を出した際に、すべての手続きを1ヶ所に集約して欲しい。</p>	<p>【福祉課】令和4年度より、ベビーギフトは2ヶ月訪問時でなく、町民課で出生届を提出された後、福祉課での手続きの際にお渡ししている。</p> <p>【福祉課】今以上の駐車場の拡大は難しいため、行事等がある場合は、近隣施設へ止めさせていただくようお願いをしている。</p> <p>【福祉課】町のバスの利用は小学校の水泳教室や各種団体の利用があり、保育園(所)の行事でのバスの確保が年々難しいのが現状である。なるべく保育園(所)の希望に添えるよう調整したい。</p> <p>【福祉課】3月31日までは未就学児のため保育所(園)で、4月1日以降は小学校に在籍するため、町立の放課後児童クラブの利用が可能となっている。</p> <p>【福祉課】放課後児童クラブ事業に限らず、まずは相談を聴き、回答についてすぐにできない場合は担当者から電話にて対応する等、相手を気遣った対応を心掛けるよう関係職員に周知徹底した。</p> <p>【New】【教育委員会事務局】前回会議でのご指摘を受け、令和5年度から「上市町適応指導教室」から「教育支援センター」へ名称を変更する。</p> <p>【教育委員会事務局】悩みごと相談窓口の情報については、相談者の同意を得た上で、学校と連携を取ることにする。</p> <p>【教育委員会事務局】不登校については、適応指導教室改め教育支援センターに相談指導員や生活指導員を配置している。また、教育センターの発達支援アドバイザーを悩みごと相談窓口配置している。また、ひとり親への経済的支援については、奨学資金制度を設けている。</p> <p>【教育委員会事務局】小学校のプールについては、プール施設の老朽化や職員の働き方改革の観点から委託という方法で行うこととした。ウエルネス健康科学専門学校については令和2年3月に閉校となったことから、現在はアピアスポーツクラブに委託し、常願寺ハイツスポーツ公園のプール施設を利用している。</p> <p>【New】【教育委員会事務局】前回会議を受けて、速やかに中学校でも始業式及び終業式に給食を提供することとした。</p> <p>【教育委員会事務局】ヘルメットの支給については小学校の新入生のみとし、中学校については、必要であれば役場の窓口にて購入していただくこととしている。</p> <p>【教育委員会事務局】冬のスクールバスの帰りの便については、午後4時ごろから1台で各校区を回っており、校区によっては遅くなる場所もあるが、利用状況などを考慮し、回る順番を検討していきたい。</p> <p>【教育委員会事務局】学校の方からも出来る限りお願いしていきたいが、限界があることはご理解いただきたい。</p> <p>【教育委員会事務局】通学路の安全については、毎年各校から危険箇所等を挙げてもらい、その際に用水路も併せて点検を行い、改修の要望を管理部へ提出している。</p> <p>【教育委員会事務局】上市図書館のある生涯学習会館は建設から30年以上経過しており、今後大規模な修繕も考えなければならぬ時期となっている。頂戴したご意見は、今後修繕を実施する場合に参考とさせていただきたいと考えている。</p>

第3回子育て環境検討プロジェクト会議での意見・要望に対する対応 (2/3)

No.	分類	意見・要望	対応の状況
2	情報発信の工夫	<p>■ 上市町は給食を各学校で調理しており、とてもクオリティが高いので、外にもっと自慢してもよいのではないかと。</p> <p>■ 上市町の観光地は子供が行って楽しめる施設、場所かわからず、一度も行ったことがない。子供が行っても楽しいということをもっとPRしてほしい。</p>	<p>【教育委員会事務局】マスコミや広報などへPRしていきたい。</p> <p>【企画課】上市町観光協会のHP「かみいち旅 ネット」では、町の観光について様々な情報が掲載されている。その中のモデルコースを紹介するページに、「ファミリー満喫コース」が3コース掲載されており、親子で楽しめる観光地の紹介がされている。このHPは、上市町の公式HPや移住・定住HP「かみスイッチ」にもリンクを貼ったり、かみいち旅ネット公式SNS(Facebook、Instagram)を使った発信をするなど、町外へ向けたPRを積極的に行ってきたが、今後は町民の方々に対する情報発信にも力を入れ、新しくなった町HPやSNSを効果的に活用しながら、子育て世代の方々にも情報がしっかり届くよう工夫していきたい。</p>
3	関係者の情報共有の場づくり	<p>■ LDやADHDに関して、グレーゾーンの子どもたちに対する支援や声かけが全くなく、スクールカウンセラーも機能していない。町独自にスクールカウンセラー事業にてこ入れし、保育園(所)～中学校通しての活動をして欲しい。</p> <p>■ 保育士や教員がLDやADHDに関する情報をブラッシュアップすることや、新しい情報を仕入れる(学習できる)チャンスを持って欲しい。また、これは時間外ではなく仕事時間内に業務として参加できるスタイルを取るべきである。</p>	<p>【教育委員会事務局】町では、教育支援員やスタディメイトを配置し、特別な支援を要する児童生徒の学習面や生活面を支えている。</p> <p>【福祉課】県が実施するハートフル保育カウンセラー(臨床心理士)派遣事業やハートフル保育スキルアップ研修に参加し、保育士や放課後児童クラブ指導員が発達障害に関する基礎知識や具体的な支援方法を学ぶ機会を設けている。</p>
4	新たな支援制度等の創設	<p>■ 保育園(所)の遊具が古くなってきた際の新しい遊具を設置する援助が欲しい。</p> <p>■ 園庭の樹木の手入れに対する補助が欲しい。</p> <p>■ 出産に対する助成は昔に比べてとても充実しているので、小学校の部分をもっと手厚くしてほしい。</p> <p>■ 立山町のように、上市町でもランドセル購入の助成があったらよい。</p> <p>■ 家事代行や町の飲食店等のクーポン券などを発行してほしい。</p>	<p>《New》【福祉課】新年度予算に計上した。</p> <p>【福祉課】現行、樹木の手入れに対する補助はない。</p> <p>《New》【教育委員会事務局】令和4年度より実施している小中学校給食費無償化を令和5年度も引き続き行う。</p> <p>【教育委員会事務局】町でもランドセルの購入は検討したが、アンケートの結果、ランドセル購入を楽しみにしている保護者も多く、購入については、見送りとした。</p> <p>【企画課】令和4年では、上市町商工会が還元率40%劔岳プレミアム商品券を発行し、多くの方に利用いただいた。今後も様々な形で子育て世帯を支援していきたい。</p>
5	子育て環境の改善	<p>■ 上市町はひとり親にとって魅力が感じられない。</p> <p>■ 訪問型子育て支援員(子育て経験者)がいて、困ったことがあれば行政に繋いであげられる支援があるとよい。</p> <p>■ 頼り先がない方のためのファミリーサポートや見守りサポートなどの支援があれば、子育ても多少楽になるのではないかと。</p> <p>■ 育児休暇は産後休暇の延長であり、母親もしっかり休まなければ心の余裕が持てず子供としっかり関われない。親の休息のためにも、一時保育や保育園などの子育て支援を使えるような環境づくりが必要。</p> <p>■ 放課後児童クラブの町内格差是正のため、自分の学区外の放課後児童クラブの利用が出来たり、町外の施設を利用した際は町との利用料の差額を助成するなどしてはどうか。相談があった際に対応できるよう、町内外、民間施設含め把握しておくことが必要。</p>	<p>【福祉課】ひとり親家庭への経済的な負担を軽減を図るために、児童扶養手当、医療費助成、保育料や放課後児童クラブ使用料の減免、若年世帯定住促進事業(住宅取得補助金)等の事業を実施している。</p> <p>【福祉課】子育てについて困ったことがあれば、子ども家庭総合支援拠点や子育て世代包括支援センターに相談してほしい。</p> <p>【福祉課】保育所や一時預かりが利用できない夜間や日曜・祝日等にベビーシッターを利用した時の利用料の一部を助成している。(利用料の1/2を助成。児童1人につき12,000円/年度) また、保護者が疾病や行事などの都合により、家庭での児童療育が困難になった場合に、児童福祉施設でお預かりする「上市町子育て短期支援(ショートステイ・トワイライトステイ)事業」を行っている。</p> <p>【福祉課】町内の保育施設では未就園のお子さんを保育できない場合に一時的にお預かりする有料保育サービス(一時保育)を行っている。一時保育には富山県から配布している「子育て応援券」も利用できる。また、上市保育園、音杉保育園、認定宮川こども園内の子育て支援センターの利用や、こどもの城では乳幼児教室も行っている。</p> <p>【福祉課】放課後児童クラブの利用については、原則学区外のクラブの利用は出来ない。また町外施設を利用した場合の利用料の助成は実施していない。相談があれば町外で利用可能な施設の紹介をする。</p>

第3回子育て環境検討プロジェクト会議での意見・要望に対する対応 (3/3)

No.	分類	意見・要望	対応の状況
5	子育て環境の改善(続き)	<p>■陽南小に放課後児童クラブがないため、学校の長期休業日の預かり先に大変困っている。長期休業日だけでも放課後児童クラブの開設ができないか。もし駄目でも音杉保育園の学童保育に陽南小の児童も入ることは出来ないか。</p> <p>■放課後子ども教室「元気ッズ陽南」を学校の長期休業日も普段と同じように9時から13時で開設出来ないか。</p> <p>■学校の長期休業日の学童保育の開設について、保護者の方に協力を呼び掛けたらどうか。</p> <p>■小学校の夏休みにプールを開放することはもう出来ないのか。</p> <p>■小学校の夏休みの午後、先生が体育館で子どもたちと遊んだり教室で勉強を教えてくれることは出来ないか。</p> <p>■かみいち総合病院の分娩再開など、出生数の減少に歯止めをかける対策をもっと積極的にしてほしい。</p> <p>■かみいち総合病院で妊婦健診は行っているということだが、分娩施設を紹介してもらうことは出来ないか。</p> <p>■夜中に乳腺炎になった際、かみいち総合病院は午後からの診察だったので別の助産院を利用した。午前中でも見てもらえる体制を整えて欲しい。</p> <p>■子供をチャイルドシートに乗せたり下ろしたりするのが大変なので、ドライブスルーのお店がもっと増えたらいいと思う。</p>	<p>《New》【教育委員会事務局】教室開催において中心的な役割を担っている柿沢公民館の職員と協議し、冬季・春季休業期間も開設することとなった。開設時間は夏季休業期間と同様9時から13時までとし、見守り担当も、現在のメンバーで開始する予定だが、今後、担当者に不足が生じることとなった場合には、保護者をはじめ、地域の方のご協力が可能であれば大変ありがたい。</p> <p>【教育委員会事務局】水泳授業の外部委託に伴い、小学校のプールについては開放をしないこととなった。</p> <p>【教育委員会事務局】教員の夏休み期間は研修等が入っており、要望の対応は難しい。</p> <p>【かみいち総合病院】かみいち総合病院は、助産師不足、医師の働き方改革等により分娩を休止した(産科医師不足により産科医自体が無くなる自治体も出ている。)。なお出生数の増加は、分娩以外の事業(産後ケア等)で対策を行うことが必要と考えている。</p> <p>【かみいち総合病院】かみいち総合病院は、妊娠32週までに分娩できる病院の相談、紹介を行っている(かみいち総合病院が行わないのは分娩のみで産前産後の相談は行っている。)</p> <p>【かみいち総合病院】かみいち総合病院には、常勤の産婦人科医師、助産師等がいるため、お電話等で事前にご連絡いただきたい。</p> <p>【企画課】子育て中の方がお子様とのお出かけの際に利用できるお店として、富山県では「とやま子育て応援団」を実施しており、上市町でも43件(令和5年3月8日現在)の店舗が登録されている。また、上市町観光協会で昨年、上市町でグルメを楽しむための便利なマップ「かみいちグルメマップ」が作成され、お子様と行ってもくつろげる店やテイクアウト情報など、子育て世代にも嬉しい情報が掲載されている。今後は、こういった県や町の外部団体等が発信している子育て世代に有益な情報なども、町HPなどで積極的に配信していきたい。</p>
6	各種イベントの充実	<p>■こどもの城の乳幼児教室で行っている親子遠足で町内の観光地をめぐるツアーをしてはどうか。</p> <p>■こどもの城や児童館のイベントについてももっと色々な種類を増やしていけないか。</p> <p>■コロナによって子どもが外で遊ぶことが少なくなったため、運動するイベントを開催してほしい。</p> <p>■小さい子供にとっては公共施設も多くいい町と感じるが、大きくなった子供たちが楽しい町、ずっと住みたい町と思ってもらえるよう、町の企業とも連携して今以上に面白いイベントを開催してほしい。</p>	<p>【福祉課】こどもの城では、乳幼児教室、ふたごみつご広場、将棋クラブ、ヒップホップダンススクール、折り紙教室等各種様々な教室や、季節に合わせたイベントを開催している。また絵本室では絵本の読み聞かせ会や親子折り紙教室を開催している。イベントの内容については、毎年職員と検討しており、今後も保護者も子どもも楽しめる内容を計画していけたらと考えている。町広報だけではなくアプリやHP等を活用し、周知方法も工夫していきたい。</p> <p>【福祉課】こどもの城では未就学児を対象とした運動会を毎年開催しており、他にヒップホップダンススクールや運動教室も開催している。</p> <p>《New》【教育委員会事務局】マラソンなどのイベントはスポーツに取り組むきっかけになる大事な事業と考えている。コロナ禍で残念ながら今年度も中止になったが、町制70周年記念事業としておのおの運動強度に合わせて参加できるリレーマラソンの開催に向け準備を進めている。また、総合型スポーツクラブ「さんさん」でもトランポリンやボルダリングなど新たなスポーツの体験会として、今年の秋にフェスティバルの開催を予定しているほか、マット運動、器械体操などの軽運動教室、バドミントン教室、かけっこ教室などは年間を通して開催している。そのほか、現在、町内には野球やバドミントン、空手などの8競技、13団体のスポーツ少年団が活動している。今後は、町ホームページや広報紙、SNSを通して周知していきたいと考えている。</p> <p>《New》【企画課】子供たちが町で楽しめたり、町の企業との連携をしたイベントの開催をというご意見を受け、町では、夏休み期間に親子で楽しめるイベントを充実させることとする。令和4年度まで開催していた「かみいちDeaiBar事業」を「かみいちTAMARIBA事業」に一新し、大人同士の交流だけでなく子供同士や子育て世代が楽しんで交流出来るイベントも開催する。また、令和4年度に実施した「ミライの種」イベントも引き続き開催することとしており、自然の中で様々な体験や遊べる機会を創る。令和5年度の新たな事業として、「おおかみこどもの森づくり」プロジェクトの取組の一つとして小学校での森づくり講座やワークショップを開催し、自然環境の保全や多様な動植物の生態に関心を持つきっかけづくりも積極的に行うなど、子供たちが町の魅力を感じ、郷土愛を育む場を提供していく。</p>